

特別賞

都市計画道路 南駅口美保橋線道路改良事業

(表彰対象者：鳥取県鳥取土木事務所)

表彰の理由 沿道地権者の協力により、建物のセットバックによるゆとりのある歩道空間が実現された。

事業のあらまし

この事業は、鳥取駅南地区の南北軸形成のための幹線街路として整備したものである。本事業箇所である鳥取駅南地区は昭和27年の鳥取大火後の火災復興整備を契機に、既成市街地に分散していた工場の移転が積極的に推進され、工場の集中化が図られた地区であるが、昭和44年に事業着手された鳥取駅を中心とした連続立体交差事業が本格化する中、当地区を駅北地区と一体となった都心地区として再整備する機運が高まり、昭和53年に「鳥取駅南地区総合交通施設整備計画」が策定され、本事業はこの計画の一部に位置付けられている。

- 延長：261.0m
- 幅員：16.0m
- 事業費：812百万円
- 事業実施期間：昭和59年4月～平成6年3月



起点側から終点側を望む。人と車が、重厚な植樹帯により分離され、安全性が向上した。



起点側から終点側を望む。歩道もなく、人と車が幅轢している。



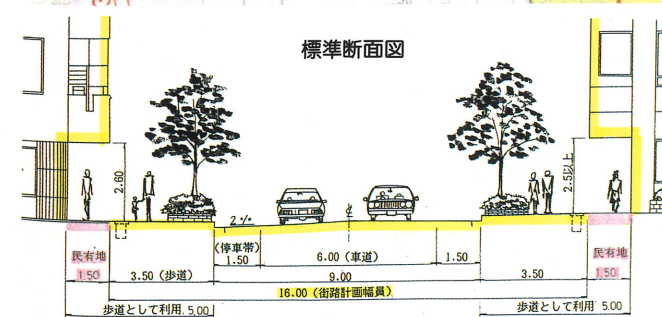
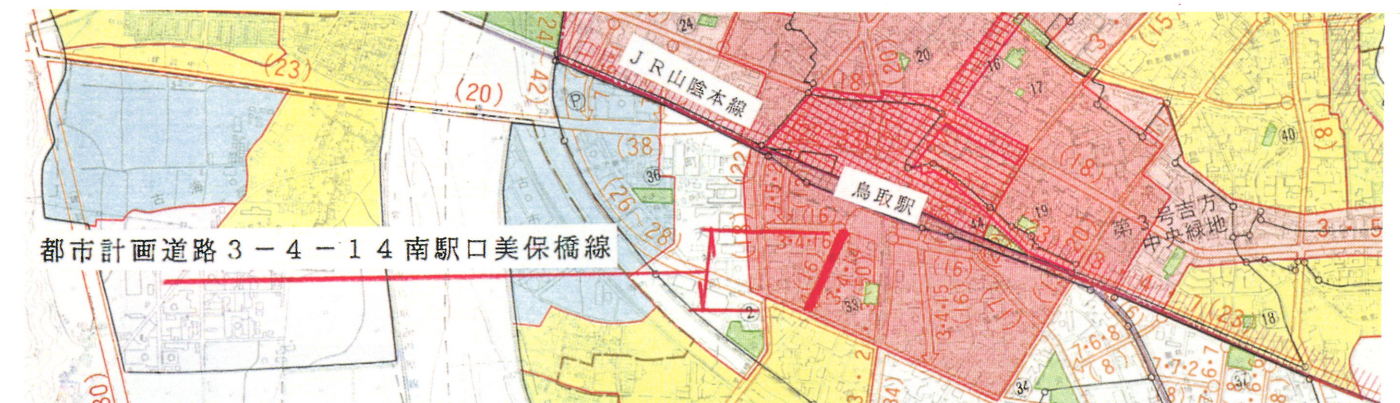
事業区間の中間点から起点側の駅方向を望む。セットバックによる効果がわかる。



歩道内のサークル、サポーターベンチ等を配置した。



セットバックにより広がった歩道空間に、アクセントをつけた植樹、サポーターベンチの配置がわかる。



事業遂行上の工夫

本事業により、鳥取駅南地区にショッピングタウン・ビジネス街を創造し、都心としての都市環境が形成された。特に、沿道地権者が官民境界より控えて建物を建築（セットバック）し、その提供された空間を利用し、うるおいとゆとりのある広幅員（5m）の歩道の整備が可能となり、当地区のシンボルとなる街路が形成された。